

チ, ^{99m}Tc -MAA シンチを施行したが, 明らかな原因をみとめなかった.

9. 肺癌患者の放射線治療前後における ^{123}I -IMP と ^{99m}Tc -DTPA 検査所見について——予報

森 泰胤 高橋 一枝 余田みどり
 細川 敦之 川崎 幸子 高島 均
 田邊 正忠 (香川医大・放)
 中野 覚 (香川県立中央病院・放)

^{123}I -IMP および ^{99m}Tc -DTPA エロソールを用いて肺癌患者の放射線治療前後に肺イメージングとクリアランスカーブを測定し, 放射線肺臓炎の予知に有効か否かを検討した. 対象は放射線治療が施行された肺癌患者 9 名で放射線治療開始直前および終了直後に両シンチグラフィを施行した. 9 例中 3 例に放射線肺臓炎が起き, IMP クリアランスの延長が認められた. DTPA クリアランスは 1 例のみで短縮が認められ, 放射線治療前との変化率は IMP が大きかった. 放射線肺臓炎の予知には IMP が DTPA より鋭敏と考えられたが, IMP は経静脈投与のため血流が途絶している肺野では評価不能であるのが欠点と思われた.

10. 肺病変における ^{99m}Tc -MIBI の検討

西垣内一哉 菅 一能 内迫 博路
 (山口大・放)
 宇津見博基 山田 典将 (同・放部)
 中西 敬 (済生会下関総合病院)

^{99m}Tc -MIBI 静注後 30 分間の Time activity curve より, 1 分後から腫瘍部は正常肺に比べ高い集積比を示し 30 分後まで, この傾向に変化はなかった. 胸部病変の ^{99m}Tc -MIBI 集積比の平均値 (Early) は悪性腫瘍病変 16 例で 2.11 ± 0.62 と良性病変 8 例の 1.19 ± 0.23 に比較して高値であった. 良性病変では陳旧性肺結核 3 例は ^{99m}Tc -MIBI の集積を認めなかったが Aspergillosis の集積比 Early 1.37 や, UIP の集積比 Early 1.65 は比較的高値であった. 手術標本およびタリウムシンチ所見との対比ができた随伴陰影 (無気肺, 肺梗塞) を認めた悪性腫瘍 2 症例を提示した. ^{99m}Tc -MIBI は静

注早期に悪性腫瘍と良性随伴陰影が鑑別できる可能性が示唆された.

11. ^{99m}Tc -MIBI の肺腫瘍への集積の検討

岩宮 孝司 仙田 哲朗 周藤 裕治
 遠藤 健一 西尾 剛 太田 吉雄
 (鳥取大・放)
 河崎 雄司 (同・三内)

^{99m}Tc -MIBI は ^{201}Tl と同様腫瘍への集積が報告されているが, 今回肺腫瘍が疑われた 8 例 (肺癌 7 例, 非定型抗酸菌症 1 例) に ^{99m}Tc -MIBI シンチを応用し, その腫瘍シンチとしての有用性を検討した. 方法は ^{99m}Tc -MIBI 600 MBq 静注 10 分後および 3 時間後に planar 像および SPECT を撮像し, 腫瘍部の集積を視覚的に判定するとともに, 腫瘍部と対側健常肺および心と腫瘍部の uptake ratio を求めた. ^{99m}Tc -MIBI シンチでは, 肺癌の全例に集積を認めた. また, SPECT により縦隔リンパ節転移も描出された. uptake ratio は, 早期像の方が良好であり, 後期像では腫瘍と健常部の境界は不明瞭となった. また, 早期像において合併する炎症への集積は軽度であり, 腫瘍シンチとしての有用性が示唆された.

12. 肺腫瘍の核医学的診断法—— ^{201}Tl と ^{99m}Tc -MIBI (MIBI) との比較検討——

川崎 幸子 西山 佳宏 小林 琢哉
 福永浩太郎 佐藤 功 大川 元臣
 田邊 正忠 (香川医大・放)
 松野 慎介 (滝宮総合病院)

肺腫瘍 18 例に ^{201}Tl (111 MBq) と MIBI (600 MBq) を同時投与し, 2 核種同時収集法にて, プラナー像と SPECT 像 (early, delayed images) を撮像した. 腫瘍 (T) と健側肺 (NL) に ROI を設定し T/NL 比を算出した. ^{201}Tl , MIBI とともに肺癌 16 (adeno 4, SCC 6, small 5, large 1), カルチノイド 1, 悪性リンパ腫 1 例の全例が SPECT で陽性描画された. 腫瘍からの MIBI の wash-out は 63% にみられ, SCC の 83%, adeno の 100%, small の 40% であった. T/NL 比は ^{201}Tl 3.8 ± 1.5 , MIBI 2.7 ± 0.8 で腫瘍への集積は ^{201}Tl が良好であった. ^{201}Tl ,